

特集 上下水道局の新たな取り組み

上下水道局では、快適で住みよいまちづくりを進めるため、さまざまな事業を行っています。今回はその中から新たな2つの事業を紹介します。

1 インドネシア共和国ソロク市の水道水を「飲める水」に

「飲める水道水」の安定供給を目指す

日本では飲めることが当たり前の水道水。しかし、海外には水道水を飲むことができない場所が多くあり、インドネシア共和国ソロク市もその1つです。豊橋市上下水道局では、平成27年度から3年間の予定で、(独)国際協力機構(JICA)の「草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)」を活用し、ソロク市の「白く濁った水道水」を「飲める水道水」へ転換するとともに、安全で安定的に家庭へ届けることを目指して浄水技術の支援を行っています。

具体的には、本市上下水道局の技術者を現地に派遣し、ソロク市浄水場の運用改善を行うための人材育成や、機材を使って浄水技術の直接指導などを行っています。

水道水が白く濁る理由

ソロク市の水道水は、水源となる市内の川の水を浄化する設備の調整がうまくいかないために白く濁っています。また、ソロク市は赤道直下に位置し気温が高く、多くの細菌が発生しますが、殺菌技術がないため、水道水をそのまま飲むと腹痛を起こしてしまいます。

支援する利点は

ソロク市にとっては、水道局職員の技術が向上し、「飲めない水道水」が「飲める水」となることで、生活が大きく改善されます。そして本市にとっては、現在まで蓄積してきた水道技術を職員が現地で提供することを通じ、本市の水道技術のますますの維持向上が図られ、本市水道水の安全・安心かつ安定的な給水に繋がります。



浄水技術指導を行うソロク市の水道施設



平成27年7月に現地で行われた協定締結式の様子(左からJICAインドネシア事務所次長 原田徹也さん、イルザル・イリアス ソロク市長、佐原光一豊橋市長)

問い合わせ 給排水課 (☎51・2726)

お客さま料金センターからのお知らせ

■水道使用の開始・中止の申し込みは、インターネットが便利です

引越など水道使用の開始・中止を希望する方は、電話のほか、上下水道局ホームページ (<http://www.city.toyohashi.jp/3061.htm>) から申し込みができます。

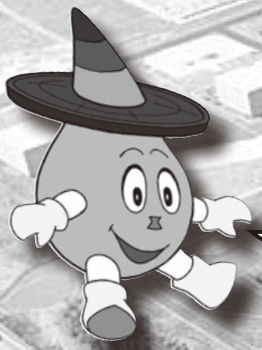
■支払いは、便利な口座振替・自動払込みをご利用ください

水道料金・下水道使用料の支払いを口座振替・自動払込みにすると、支払いに出かける手間が省け、払い忘れも防止できます。お近くの金融機関または上下水道局でお申し込みください。

【共通事項】お問い合わせ お客さま

料金センター(牛川町字下毛田上下水道局2階 ☎51・2712)

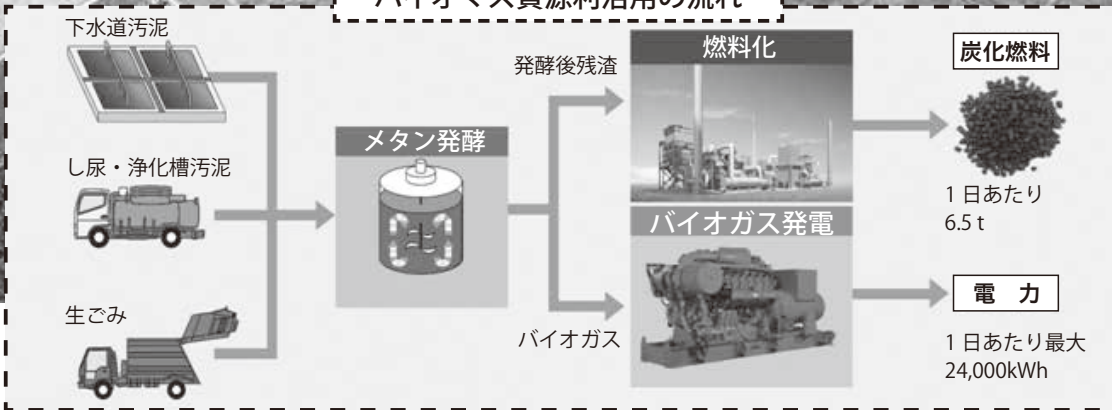




上下水道局マスコット
「クリン」

現在建設中の「バイオマス資源利活用施設」について、みなさんの疑問にお答えするよ！

バイオマス資源利活用の流れ



バイオマス資源利活用施設を建設中です

Q. バイオマス資源利活用施設ってなに？

A. この施設は、「バイオマス資源」を使って「バイオガス」を発生させ、さらに、そこから電力を作り出すことができるんだよ。

バイオマス資源は、動物や植物から生まれた再生できる資源のことで、具体的には下水道汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを利用するよ。さらに、発電後に残った汚泥（発酵後残渣）も炭化燃料にすることで、全てをエネルギーとして活用できるすごい施設なんだ。



Q. どんな利点があるの？

A. 汚泥と生ごみを使ってエネルギーを作ることで、生ごみを「焼却」する量が減って、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量も減るんだよ。

Q. どのくらい発電できるの？

A. 一日あたり最大2万4千kWhの電気を作ることができるよ。作られた電気の一部は施設の中で利用して、残りは電力会社を通じてみなさんに利用してもらおうよ。その量は1900世帯分の電気量になるんだ。

Q. バイオガスはどうやってできるの？

A. メタン菌という微生物が、酸素がない状態で汚泥や生ごみの中の有機物を分解するときに発生するよ。これを「メタン発酵」というんだ。

Q. 生ごみの分別収集はいつから始めるの？

A. 今、生ごみは「もやすごみ」として収集しているけど、平成29年度中に「生ごみ」として別に収集する予定だよ。詳細は本紙などでお知らせするので、みなさん協力してね。

Q. 下水道汚泥で作っていた「のんほいユーキ」はどうなるの？

A. 施設が完成した後、下水道汚泥は全てエネルギーとして再利用するので、下水道汚泥を原料として作られていた「のんほいユーキ」は平成29年度に提供終了となるよ。

Q. 施設はいつ・どこにできるの？

A. 中島処理場（神野新田町字中島）の敷地内だよ。今年度から建設が始まっていて、完成は平成29年度を予定しているよ。見学コースもできるので、みなさんも見に来てね。